

秋をしのぶ～会津若松市の紅葉スポットを紹介します～

会津若松市は日々寒さが増してきて、少しずつ冬の近づく足音が聞こえるようになりました。

周辺の山々が赤や茶色、黄色に染まる紅葉の季節が懐かしく感じられます。

今回は、そんな秋真っ只中の紅葉スポット散策の様子をお送りします。

※会津若松市の紅葉は例年10月中旬から11月上旬が見ごろです。

会津総合運動公園



会津総合運動公園は、あいづ総合体育館、あいづ球場、あいづドームをはじめとして、多目的広場、テニスコート、多目的サッカー・ラグビー場、子どもたちが遊べるわんぱく広場や、ゲートボール場なども備えます。

会津総合運動公園の東側では紅葉で色づく山々が一望でき、紅葉に囲まれ秋を感じながら、様々なスポーツやレジャーを楽しむことができます。

(撮影日 2012/11/1)



また、この地区は会津の秋の味覚であるみしらず柿の一大生産地です。

みしらず柿は、会津で栽培されている柿で、独特の食感と濃厚な甘さが特徴で、

とても食味がよく毎年皇室へも献上されています。

たわわに実ったオレンジ色の柿がわたしたちに会津の秋の訪れを感じさせてくれます。

背あぶり山公園



できる絶景ポイントとなっています。

※冬季間は背あぶり山までの県道が閉鎖となるため、営業期間は毎年4月下旬～11月末日となります。

(撮影日 2012/11/1)

前回は紹介した背あぶり山も、会津若松市を代表する紅葉スポットの1つです。会津若松市の東部に位置する背あぶり山は、城下町会津若松の奥座敷ともよばれている東山温泉から、山道を車で走ること20分ほどの位置にあります。さらに背あぶり山公園のレストハウスから徒歩で10分ほどの山頂では、眼下に広がる紅葉を眺めながら、磐梯山と猪苗代湖が一望

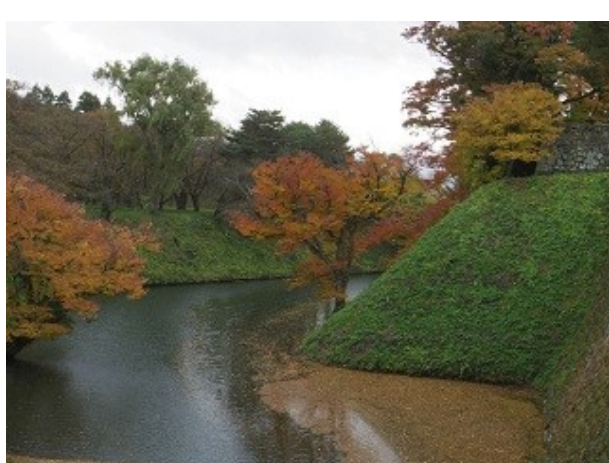


鶴ヶ城

鶴ヶ城では、2011年に国内唯一の赤瓦への葺き替えが完了し、木々の紅葉とのコントラストも相まって何とも言えない風情を感じることができます。鶴ヶ城公園は桜の名所として知られていますが、秋には、カエデ・モミジ・イチョウも加わり、大自然の紅葉とはまた違った素晴らしさを感じることができます。

また、紅葉の時期にあわせて鶴ヶ城公園内がライトアップされます。月の光と幻想的にライトアップされた鶴ヶ城を、紅葉を見ながら散策することができますよ。（本年は10/19～11/11まで行われました。）

(撮影日 2012/11/9)

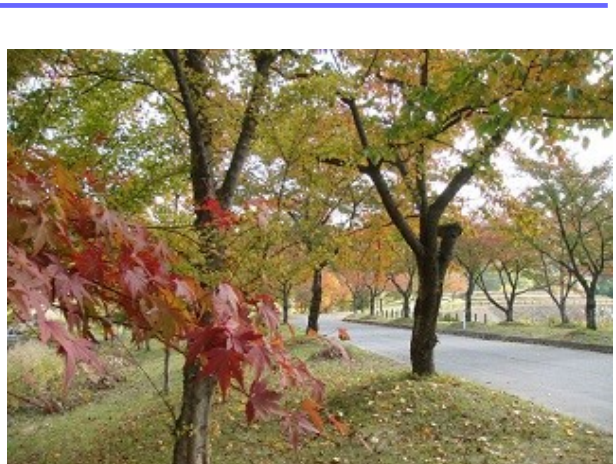


河東工業団地

河東工業団地内でも、植樹された桜の木はもちろんのこと、周辺の山々や隣接する河東総合体育館の桜の木やモミジなどの紅葉を見ることができます。

また、秋の河東工業団地では、西を眺めると米どころで知られる会津盆地が夕日に照らされて黄金に見え、東を眺めると遠くに紅葉に包まれた磐梯山が望める絶景スポットでもあります。

(撮影日 2012/11/1)



会津は春夏秋冬がはっきりしており、周辺の山々や身近な自然が季節の移り変わりを知らせてくれます。

会津の四季を感じる散策に出かけてみてはいかがでしょうか。